

優秀賞

民生委員になろう！

小玉 伶奈 (-:神奈川県)

近年のインターネットの普及に伴い、地縁関係が希薄になったことで生じている問題がある。それは、「民生委員の人手不足」だ。民生委員は、全国で定数より1万5191人の欠員しており、欠員数は戦後最多である。

民生委員は住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う。このように、地域社会において非常に重要な役割を果たしており、この立場を絶やす訳にはいかない。

《ゲームの概要》

1. ゲームは“研修員レベル”から始まる。

一人暮らしの高齢者の増加や、児童虐待、生活困窮世帯など地域で生じる問題に対して、社協ワーカーや介護保険サービス、行政保健師などの多様な社会資源を組み合わせる支援をしていく。

そして、住民から「感謝」をもらえる。

2. お手伝いをクリアしていくごとに、“民生委員推薦会から推薦” → “都道府県知事から推薦” → “厚生労働大臣が委嘱” → “民生委員”と、実際の流れと同じようにレベルアップしていく。

3. ゲーム内でSNSを用い、地域内外に発信し地域活動の参加を募ったり、民生委員の活動を補佐する「協力員」を集めたりすることで、活動の幅を広げることが可能である。

このゲームにより、地域的なつながりの魅力を人々に感じてもらい、社会福祉の増進に繋がることだろう。